## より素敵な地域、そして日本へ

## G-NET-LM 7129

「男女共同参画とは何か」を学ぶところからスタートした実習の 最終ゴールはフェスタでの学びの発信でした。一人ひとりが 「性別に関係なく、自分の力や個性が発揮できる社会にして いきたい」と熱い思いをもって盛り上げてくれました。

手話歌シンガーのyokko よるステージでは、歌に合わ 人権について考えることがで

ーフェスタでの発表をふり返って

さん×ジンケンダーに せて手話を行うことで、 きました。



みんなで笑顔になろう!2021

演いただきました。

力」を伸ばす関わ

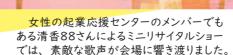
り方』をテーマにご講

や販売、ワ り楽しみあり癒しありの企画により、ご 感染予防をしながらの出展となりまし ゲームコーナー クショップ、クイズラリ など、新型コロナウイルス











子遊びをご披露いただき、その後、『笑ろ

てる家族がええやん!子どもの「生きる

講師にお招きし、マジックショーとともに は、マジックパパ代表和田のりあきさんを

しがパパママスクール」でも大人気の親

今の子どもたちに必要なことは、成功体験と失敗体験。 『身近な大人』の役割は、子どもたちが安心してうまく いかない経験ができる場を提供すること。

これからの社会を担う子どもたちの「生きる力」を 高めるために必要なことを教えていただきました。







無意識 私たちは男女共同参画について何も学んでいない のは、この「無意識の偏見」が日常にあふれていることです。今回 あったり、習い事であったり様々です。おそらく言った本人は悪気 ものは潜んでいるのだと気づきました。例えばランドセルの色で 偏見」と呼ぶことを知りました。また、男女共同参画をテーマに 「偏見」というと、肌の色が違ったり、家が裕福なのかそれとも貧 があったわけはなく、また差別する意図はないのだろうと思いま 価値観で考える以前に、かつ無意識に行われる偏見を「無意識の しいのかというところに目がいって、自分とは疎遠なことのように したとき、普段使っているような言葉や行動にも「偏見」という かし、言われた側はよく覚えていることが多いです。問題な した劇では、「無意識の偏見」を題材にし 偏見

(滋賀大学社会教育実習生)

さった皆様と私たちで少しでも男女共同参画について考え、

素敵な地域、日本にしていければと思っています。

2-』を開催しました。メインステージで